

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名： 連続立体交差事業
- 路線名又は箇所名： J R 佐世保線（武雄温泉駅付近）
- 事業の概要
事業期間：平成 1 0 年度～平成 2 2 年度
事業費：約 1 1 5 億円
事業内容：鉄道高架事業 L = 約 3 . 1 k m W = 5 . 6 m

【公共事業の効果等】

- 交通の円滑化
- 良好な都市空間の創出

【事業実施前の状況等】

J R 佐世保線（武雄温泉駅付近）は武雄市の中心市街地を貫通する線路であり、武雄市内の交通ネットワークを形成する街路を踏切により分断しており、朝夕のラッシュ時には交通渋滞が生じている状況であった。

また、J R 佐世保線を境に武雄市の中心市街地は南北に分断され、国道 3 4 号バイパスの供用開始を発端に J R 佐世保線南部の開発が進み、それに伴い J R 佐世保線北部の商店の流出等により空洞化が進んだため、J R 佐世保線南北で均衡のとれた市街地形成が課題となっていた。

【事業実施後の状況や県民の声など】

- 踏切除却により J R 佐世保線南北交通の円滑化が図られた。
- 事業実施前は、鉄道アンダー部の通行について、鉄道高架化により一般的な高さ制限となり、大型車通行等の利便性の向上が図れた。
- J R 佐世保線沿線の土地利用状況の変化により、地域住民等によるイベント開催など、にぎわいが創出された。

（県民の声）

- 振動・騒音の軽減が図られている。
- 踏切による交通渋滞が解消された。
- J R 佐世保線沿線の景観がよくなった。
- 川端通りの住民が主催となったイベントやイルミネーションの設置等により人が集まり活気がでている。